

関西 EAC 第461回例会のご案内

■ テーマ 生産工場や農業の改革にITを活用

■ 日時 2015年7月10日(金)12:45～17:00

■ 場所

オムロン株式会社 綾部事業所
京都府綾部市中山町鳴谷3-2

■ 交通手段

JR京都駅よりJR綾部駅下車 (山陰線特急で約70分)

JR綾部駅よりJR淵垣駅下車 (舞鶴線普通で5分)

JR淵垣駅より徒歩10分 ※12:39着 リレー号(東舞鶴行)

JR綾部駅からタクシーで15分 ※12:30着 きのさき5号(城崎温泉行)

※駅から直行される方は、この列車で間に合います。

■ 備考

担当幹事 GSユアサ 萩尾氏 / オムロン オートモーティブエレクトロニクス 竹澤氏
スケジュール

12:45～12:55	守衛前に集合、受付後に12:55頃に会場に移動開始 2号棟 724会議室
13:05～13:20	事務局連絡事項・会長挨拶
13:20～15:00	<p>【工場見学】オムロン 綾部事業所 受入代表者様ご挨拶 工場の紹介後、2班に分かれて見学します。 オムロン綾部事業所は、ファクトリーオートメーション用センサの開発・生産拠点です。ものづくりとしては、2万8千種類に及ぶ製品をその特性に合わせて、セル生産やLCIA、からくり、IEを活用し、生産性向上を進めています。また、生産現場の省エネ活動にも取り組んでおり、QCD、生産性と環境が最適にバランスしたものづくりを推進しており、最近では以下の受賞実績があります。 第23回 地球環境大賞「日本経済団体連合会会長賞」受賞 平成24年度 省エネ大賞「経済産業大臣賞」受賞 日経ものづくり「強い工場アワード」第1回『優秀賞』『審査員特別賞』受賞 (事業所紹介 URL http://www.omron-ayabe.jp/)</p>
15:10～16:00	<p>【研究発表】 「工場の診える化と最適化 ECO活動」 オムロン株式会社 綾部工場 生産管理部 生産技術課 芦田 茂樹氏 電力と環境の「診える化」システム“環境あんどん”を開発、展開し、生産現場における「品質・生産性の向上」と「エネルギー削減」を両立する「最適化」をモデルケースを中心に実践してきました。モデルケース(ライン)で実践してきた省エネ事例を工場全体に展開すべく、エコ改善の人材育成にも注力しています。当工場の省エネ活動の考え方や進め方、気付き、改善事例について紹介します。</p>
16:00～16:50	<p>【デバイス発表】 「クラウドを活用したスマートアグリの実現と今後の展望」 富士通(株) ソーシャルイノベーションビジネス統括部 Akisaiビジネス部 シニアマネージャー 渡邊 勝吉氏 富士通では、農業、食市場に改革をもたらすクラウドサービス(Akisai)の提供を開始しました。本講演では「Akisai」を活用したスマートアグリの実施例、これらの現状と課題、今後の展望などをご紹介します。</p>
16:50～17:00	連絡事項&記念写真
17:30～19:30	懇親会(JR綾部駅前)